水産研究・教育機構 機関リポジトリ
FRA Japan Fisheries Research and Education Agency Institutional Repository

ハタ類フィールドガイドの紹介

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中川, 雅弘 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2008531

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.

ハタ類フィールドガイドの紹介

資源生産部　藻類・沿岸資源管理グループ　中川　雅弘

当グループでは九州及び西日本の重要な沿岸漁業対象種であるクエの資源研究を実施しています。一般的に資源研究を進めるためには、対象生物の分布、成長や成熟などの生物情報のほかに、漁獲調査などから得られる知見を基に現状の資源状態を推定することが必要です。

研究対象としているクエは、マハタ属に分類される魚ですが、一般的には近縁種も含めて「ハタ類」と呼ばれ、一般的に大型になり高値で取引される魚です。しかし、ハタ類は外見上よく類似しており、魚市場等では正確な種の判別が難しいこともあり、現場で容易に識別可能なハタ類のガイドブックの作成が強く望まれていました。

そこで、西海区水産研究所ではこの要望に応えるため、2015 年 3 月にハタ類のフィールドガイドを作成し、当所のホームページに掲載しました。このホームページの左側にある「お知らせ」の中の「刊行物等」をクリックすると、「長崎県五島市福江島のハタ類フィールドガイド」があります。これをクリックすると、誰でも利用可能なフィールドガイドをダウンロードすることができます。ハタ類とは、一般的にハタ科マハタ亜科の仲間を指しますが、このフィールドガイドには、やや遠縁であるハタ科ハナダイ亜科のアカイサキも含め、五島周辺で漁獲される 15 種を掲載しています。

近年、我が国周辺では海洋環境の変化に伴い、生息する魚の分布等が変化していることが報告されています。ハタ類は比較的暖かい海に生息しているので、もしかしたら今まで獲れなかった場所でも、これらの魚に遭遇することがあるかもしれません。

このフィールドガイドの使い方ですが、5～6ページ目に掲載写真の一覧があります。最初に(1)これを参照に魚種名の見当をまず付けてください。次に(2)各魚の解説に書かれた特徴と比較して、魚種名が正しいかどうかを判断して下さい。特徴の記述と一致しない場合には、再び(1)に戻って下さい。また、よく似た別の種がいる魚には「類似種との区別」という項目を設けてありますので、そこに示されている魚種の記述も参考にして下さい。

ご家族で釣りなどをされて似たような魚が釣れたら、お子様と一緒に調べて、どの魚が釣れたのかを調べるのも楽しいと思います。食べた魚の味と名前が分かることによって、少しでも魚への興味を持つお子様が増え、将来的には水産業に対して興味を抱いていただければ本望です。

それでは、名前当てクイズをしたいと思います。○印にカタカナを入れて魚の名前を完成させて下さい。

→　ア○○タ

ア○○タ　←

→　キ○○タ

○エ　←

→　○○○ラ

マ○○　←

何種類の名前がわかりましたか？　正解はホームページでご確認ください。

○ハタ類フィールドガイドＵＲＬ

http://snf.fra.affrc.go.jp/print/hatarui/hatarui.pdf

発行：国立研究開発法人水産総合研究センター
編集：国立研究開発法人水産総合研究センター
西海区水産研究所
〒851-2213　長崎県長崎市多以良町 1551-8
TEL　095-860-1600　FAX　095-850-7767
ホームページアドレス http://snf.fra.affrc.go.jp
本誌掲載の文章・画像等の無断転載を禁じます。